

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 津山工業 高等学校
実践場面	高校生と地元企業との交流会
実践日時（時期）	令和5年2月16日（木）
対象生徒（学年）	ロボット電気科 2年生 29名
連携の形態	<input type="checkbox"/> 包括連携協定（ ） <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 津山市（つやま産業支援センター）が仲介 ）
学びの分類	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会講師・説明会 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 <input type="checkbox"/> その他

実践の内容

【現状】

- ・津山地域には、金属加工や機械製造を手がける企業でつくる「津山ステンレス・メタルクラスター」がある。
- ・美作地域唯一の工業高校である津山工業高校には、地元産業を支える人材育成が求められており、生徒が地元企業の取組を知ることが重要である。
- ・地域との連携・協働を充実させるため、津山工業高校と津山市（つやま産業支援センター）では様々な連携した取組を行っており、本交流会もその取組の一つとして企画した。

【実践内容】

- ・「津山ステンレス・メタルクラスター」会員7社の経営者等が来校し、ロボット電気科2年生29名との交流会を開催した。生徒は4～5名のグループに分かれ、それぞれのグループに企業の経営者等が参加し、意見交換を行った。
- ・交流会は、高校生が地元企業の取組を知り、自分の将来を考えるきっかけにすることや、企業が高校生の意見等を聞いてニーズや考え方を知り、今後の活動や人材育成の参考にすることを目的に行われた。
- ・企業の経営者は自社製品を生徒に紹介しながら、事業内容などをアピールし、生徒は企業へインタビューするなど、活発な意見交換がなされた。
- ・生徒からは、「企業の方がどんな人材を必要としているか直接聞いてよかった。」「高校生のうちに夢を持つことが大切と教えてもらった。夢がないので見つけていきたい。」「企業の方の話を聞いて、自分のやるべきことが見つかった。」などの感想があった。
- ・参加企業からは、「高校生に企業を知ってもらい、思いも聞ける良い機会であり、交流が深まり、地元で仕事を選ぶ若者が増えてほしい。」との声があった。



実践による効果等

- ・生徒が企業の経営者等と直接意見交換を行うことで、地元企業の優れた技術など、事業内容を知ることや、企業がどのような人材を求めているかを聞くことができ、キャリア教育の一助とすることができた。
- ・参加企業にとっても自社のアピールができるとともに、若者の意見やニーズを知ることができ、学校・企業が互いにメリットのある交流会とすることができた。

※実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等（特に企業側）は各校で行った上で提出してください。）